



猫

へのエサやりには 責任を持ちましょう

エサを与えることで、あなたにはその猫の命に対する責任が生まれています。
地域みなさんの理解は得られていますか？

地域の住民に迷惑をかけてまで、猫にエサをやっていいものではありません。猫にエサを与えるなら、少なくとも**フンの管理(トイレの設置・清掃)**、**置きエサをしない**、**子猫が増えないように避妊・去勢手術をする**、などの愛情をかける必要があります。



猫にエサを与える

エサの周辺に猫が集まる

猫のフンがその周辺地域に集中する

その地域でフン害に困る人が増える

猫への苦情が増える

猫嫌いの住民が増える

猫が地域の嫌われものになる

猫の住みにくい環境になる

悪循環

猫が地域で嫌われものにならないためにも、悪循環を断ち切りましょう！

猫の苦情 実態

(令和2年度、京都府内 982件)

主な苦情内容

- 無責任なエサやりをしている
- 庭や公園にフンが放置され不衛生
- フン尿の悪臭で窓が開けられない
- 車を傷つけられる
- 困っているから捕獲してほしい
(保健所では捕獲しておりません)
- ネコノミに刺されてかゆい

あなたが野良猫をかわいそうと思うのと同じように野良猫によって迷惑を被り困っている人もいます。地域の理解のないままのエサやりはトラブルを招きます。

市町村や保健所等には、猫による苦情が多く寄せられています。地域住民が困り果てて、悲痛な声もあります。

